

けやき



— 自ら学び、心豊かな、たくましい子どもを育成する —

夢や希望をもつということ

3学期に実施しました児童アンケートの中の「あなたには夢や希望がありますか」という質問に対する学年児童の回答で「はい」と答えた児童の割合は以下の通りです。

1年：88% 2年：83% 3年：81% 4年：80% 5年：61% 6年：57%

学年が上がるにつれて数値が下がっていているということがわかりますが、なぜ、このような傾向が現れてくるのでしょうか。

個人差はあるものの、子どもは成長と共に思考力を少しずつ高め、自分の身の回りの様子がより理解できるようになってきます。視覚でとらえる目の前の状況だけではなく、耳に入ってくる外部の情報についても同様です。テレビで報道される内容や、子どもの周りで語られる大人の話の中身等……。私たちは、子どもたちに「あなたの目標は」「あなたの夢は」と機会があるごとに質問を投げかけます。特に卒業を控えた卒業生たちには多くなります。しかし、中学校という新たな世界へと近づいている5年、6年の子どもたちの中で夢や希望を抱く児童の割合が低下していているという現実を見て少々心配になります。原因はいろいろ考えられます。

テレビの画面に映し出される映像は、不安や恐怖を招き、緊張感や興奮を高めるような刺激的なものが多いです。ニュースも戦争、殺人、自然災害等の報道が多くを占めています。ゲームの内容もしかりです。(児童アンケートでは1日の生活の中でテレビやゲームが占める時間が2時間以上と答えている児童の割合が55%) また、子どもがいる場で大人が生活不安や仕事上の不満等を語ってしまうことも結構あるのではないのでしょうか。もちろん子どもが夢や希望を持てない原因は他にも考えられますが、少なくとも子どもたちを取り巻く環境がこのような実態を生み出していると思います。

夢や希望は生きる源になるもので、頑張りの原動力になるものです、言葉は適切ではありませんが、子どもにとって「夢」「希望」は「馬に人参」です。

今、社会的不安が多く、大人が夢を持ちにくくなっているのは事実です。しかし、そんな時代だからこそ、私を含めた大人がまず子どもたちの前で「夢」を語り、頑張る姿を見せる必要があるのではないのでしょうか。

学校は、子どもたち一人一人が夢や希望を抱き逞しく生きていくための力の育成を目指して総合的な学習を中心とした活動に改善を加えてまいります。保護者の方々のご支援とご協力をお願いいたします。

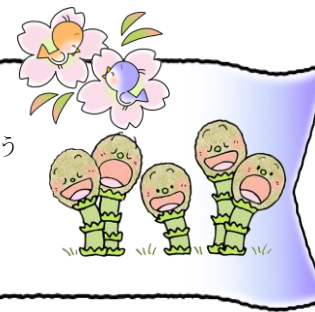
内代小学校長 内田 浩

学校ホームページには「けやき」のカラー版を掲載しています。

春はもうそこまで来ています。春は人も町も意欲に燃えて大きく動く時期です。お正月にも目標を立て、決意を新たにしたいと思いますが、春を迎え、改めて目標を確かめ、やる気を膨らませてみましょう。

3月の目標

生活目標 一年間のまとめとなる生活をしよう
保健目標 一年間の健康生活をふりかえろう
給食目標 一年間の給食をふり返ろう



3月の予定

1	火	卒業を祝う会	
2	水	文楽公演	
3	木	卒業茶話会(6年)	
4	金	学習参観・学級懇談会	
5	土		
6	日		
7	月	委員会活動	
8	火		
9	水	地区集会	
10	木		
11	金	スクールカウンセラー来校日	
12	土		
13	日		
14	月		
15	火	卒業式予行	
16	水	卒業式準備	
17	木	第63回卒業証書授与式	
18	金		
19	土		
20	日		
21	月	春分の日	
22	火		
23	水	給食終了	
24	木	修了式	
25	金	春季休業	
26	土		
27	日		
28	月		
29	火		
30	水		
31	木		

